



桜の里便り

充実した前期前半を過ごし、子どもたちの成長を実感しました

校長

本日、令和5年度前期前半の教育活動を終了しました。4か月間、毎日の授業や児童会活動など、子どもたちが主体的に取り組んで、日々の教育活動を充実させてきました。毎月の全校異年齢集団(ニコニコファミリー班)での活動や6月の全校八石山登山など、子どもたちが自主的に協力して取り組むことで、子ども同士の好ましい人間関係を築くことができました。また、5月の運動会、6月の6年修学旅行、7月の5年自然教室などの行事を実施し、かかわる活動をとおして、子どもたちに達成感や自己有用感を育むことができました。



【5年 自然教室】

また、5年生は、7月12日(水)～13日(木)に自然教室を実施しました。大自然に囲まれた妙高青少年自然の家で、自然を満喫しながら、みんなで楽しんだ2日間でした。源流探検や妙高アドベンチャーなどの活動をとおして、自分たちで考えて行動し、仲間と協力することの大切さを学びました。2日間で、さらにクラスの絆も深めることができました。

また、6月に行った教育相談前の児童アンケート結果を示します。児童の評価結果(肯定的評価(そう思う+だいたいそう思う)の割合%)は、次のとおりでした。

授業内容が分かりますか。	92%
学校が楽しいですか。	93%
クラスのみんなと活動するのは楽しいですか。	98%
自分も頑張ればできると思いますか。	94%
仲間のために何かしたり励ましたりしましたか。	85%

学習面では、子どもたちが分かる授業(分かる児童92%)を目指してきました。これからも授業の進め方や授業で使う教材に工夫を凝らし、引き続き子どもたちが分かる授業を実践していきます。

生活面では、子どもたちは学校が楽しく(楽しい児童93%)、クラスのみんなとの活動が楽しい(楽しい児童98%)と感じています。また、子どもたちの自己肯定感(自分は頑張ったこと・成長したことがあるという思い)を高める(できると思う児童94%)こともできました。これからも仲間のことを考えて行動できる良さを、さらに伸ばしていきます。

自分で決めて、仲間とともに高め合う姿がたくさん見られ、充実した前期前半を過ごした子どもたち。一人一人の成長を実感することができた4か月でした。保護者や地域の皆様からは、教育活動へのご理解とご協力をいただき、無事教育活動を終えることができました。感謝申し上げます。

5年生自然教室 in 国立妙高青少年自然の家

5年生は7月12日(水)・13日(木)に、妙高市にある国立妙高青少年自然の家に行き、1泊2日の自然教室を行いました。自然教室のめあては5つ。「クラスのみんなの「きずな」を深めよう 自分で考えて行動しよう 友達と協力しよう 自然のすばらしさを感じよう 人にありがとうと言われる行動をしよう」です。2日間の全てのプログラムをとおして、5つのめあてが達成できるよう、常にめあてを意識して行動する姿がたくさん見られました。

1日目のプログラムは3つ。館内に用意された30個のクイズを探したり、正解数を増やしたりすることを目指した館内オリエンテーリング。沢を上り、水中生物や植物などの自然に触れた源流探検。グループで考えたスタuntsをみんなで楽しんだキャンドルファイヤー。普段の学校生活では経験できない活動ばかりで、友達との協力や、自然のすばらしさを感じることができました。

2日目のプログラムは2つ。友達と協力し、課題解決を目指す妙高アドベンチャー。自然の木を使って、自分のオリジナルのスプーンをつくるクラフトマイスプーン。簡単には解決できないことを、友達と声を掛け合ったり、失敗にもめげずに繰り返し挑戦したりすることとおして、「クラスのみんなの「きずな」を深めたり、助けてもらった友達に「ありがとう」と伝え合ったりすることができました。

また、プログラムだけではなく、家で過ごす時とは違い様々な制約がある2日間の青少年自然の家での生活でも、時間を考えて自分から行動したり、施設の方や宿泊している他の学校の児童・生徒に進んであいさつをしたりすることができ、自分で考えて行動することもできたのではないかと感じます。

いろいろな体験をすることができ、充実した2日間を過ごすことができました。



オリエンテーリングでたくさんの問題を探してみんなで解いたことが楽しかったです。キャンドルファイヤーのスタuntsもうまくいったし、他の班の発表もとても楽しかったです。

頑張ったことは、あいさつです。泊っている他の学校の人にあいさつをするのを頑張りました。「こんにちは」という気持ちがよくなりました。

自然教室で楽しかったことが3つあります。

1つ目は源流探検です。川に入って生き物をたくさんつかまえて、川の生き物を学びました。

2つ目は、スプーン作りです。お気に入りの木を選んだり、どんな風に切ろうか考えて作ったりしたので楽しかったです。

3つ目は、妙高アドベンチャーです。みんなで協力して頑張りました。「いけるよ。」「こわがらなくて大丈夫だよ。」と声をかけ合いました。





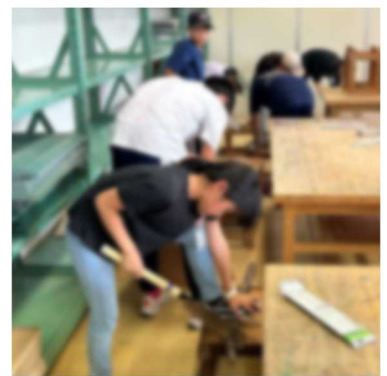
頑張ったことは源流探検です。生き物をつかまえるのは楽しかったけど、川を歩いて源流を探すのは、転びそうで少しこわかったです。でも、友達に助けってもらったり、声をかけてもらったりして、けがをせずにもどってこられてよかったです。

楽しかったことは、キャンドルファイヤーのスタンプです。なぞなぞやしりとり、誰でしょうクイズなど、それぞれの班がみんなでできる楽しいゲームを考えていて、とても楽しかったです。

自然教室で楽しかったことが2つあります。

1つ目は、源流探検です。最初は嫌だなと思ったけど、だんだんと楽しくなりました。思っていたより深いところもあって、長靴の中に水が入ってきたのでびっくりしました。最後まで行けてよかったです。

2つ目は、妙高アドベンチャーです。丸太に乗って友達と場所を変わったり、大きなシーソーの上でバランスを取ったりしました。難しかったけど楽しかったです。



日吉小学校創立 150 周年記念事業に向けて

来年度、日吉小学校は創立 150 周年を迎えます。その節目の年を祝う事業を計画いたします。次の 3 点をねらいとして、保護者や地域の皆様と連携して、記念事業を実施していきます。

児童・教職員・保護者・地域の人々で節目の年の喜びを分かち合い、地域とともに歩む日吉小学校として、これからの未来への発展を祈念する事業とします。

日吉小学校の歴史と伝統を振り返り、これまでの卒業生の足跡に思いをはせ、子どもたちの愛校心をさらに高めるよう、事業を実施します。

日吉小学校で、元気に仲良く、高め合って成長している子どもたちの姿で、創立 150 周年の節目の喜びを表す事業とします。



7 月 19 日(水)に、日吉小学校同窓会・後援会・P T A・子供育成会・町内会の代表の皆様から、ご参加いただき、日吉小学校創立 150 周年記念事業実行委員会を立ち上げました。実行委員会の組織や記念事業の内容について協議し、今後の予定を検討しました。多くの皆様のご協力とご支援を受けて、記念事業を推進していきます。

【 日吉小学校創立 150 周年記念事業実行委員会 】

いよいよ夏休み、有意義な休みに

明日から 8 月 23 日(水)まで、33 日間の夏休みとなります。全校の皆さんには、自分で計画を立て長い夏休みならではの体験を積み、有意義な休みにしてほしいと思います。明日から始まる夏休みを「わたしも笑顔、みんなも笑顔の夏休み」にしましょう。夏休み前に、全校の皆さんにたよりを配付し、夏休みの過ごし方を確認しました。

夏休みの生活目標「楽しく、健康に、安全に夏休みを過ごそう。」

命を大切にしよう

【健康】暑さをさけ、こまめに水分を取って、熱中症を予防する。

【健康】新型コロナウイルスにかからないよう、感染対策をして過ごす。

【遊び】外出する時は、家の人どこへ・誰と・何をしに・いつ頃帰るかを伝える。

【遊び】危険な場所で遊ばない。

【火災】火遊びは絶対にしない。花火は大人といっしょにする。

【水難】子どもだけで、川や用水路の近くで遊ばない。

【交通】正しい乗り方で自転車に乗る。

【不審者】不審電話や知らない人からの声掛けに気を付ける。

家庭や地域の一員として過ごそう

【生活】規則正しい生活をしよう（食事・睡眠・運動・メディコン作戦）。

【あいさつ】家の人にも地域の人にも、気持ちのよいあいさつをしよう。

【手伝い】進んで家の手伝いをしよう。

【買い物】買い食い・おごり合い・むだづかいはいはしない。

夏休みならではの体験を積もう

多くの本を読もう。夏休みまでの復習をしよう。

じっくりと調べよう・集めよう・観察しよう。進んで体をきたえよう。

保護者の皆様へ、子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。子どもたちの生活は、学校から家庭や地域が中心となります。ご家庭でお子様とよく話し合われ、お子様にとって健康で安全に、そして「楽しかった」と言える夏休みになるよう、ご家庭でもお子様へのご支援をお願いいたします。

